

【家庭数配布】

都留文科大学附属小学校・学校だより

最終号 R2.3.25

校長室の窓辺より

都留市大野 3 9 6 電話 0554(43)2336

校長 深澤 秀興

令和元年度、終わる

本来であれば、春の訪れを感じながら、1年間の教育活動のまとめをしっかり行う時期となりました。しかし、今年は世界的規模での新型コロナウイルス感染拡大の影響で、学校の様相も一変してしまいました。児童の皆さんはもとより、保護者、地域の皆様には、不安と御心配、御迷惑をお掛けし、学校をお預かりする者として、大変心苦しく思っています。幸いにして、都留市内においては、新型コロナウイルスを発症された方がおらず、このまま終息してくれることをただただ祈るばかりです。

さて、この間、本校に於いては、3月19日（木）に、規模と内容を縮小する中で令和最初の卒業式を挙行いたしました。今年度は、5年生以下の在校生の参加を見合わせる中での卒業式でしたので、その模様について御報告いたします。



● ささやかな中にも感動的な卒業式、挙行 ●

天候に恵まれる中、先週の木曜日、3月19日に、卒業式を挙行いたしました。新型コロナウイルス感染予防対策として、突如、市内一斉に臨時休業を強いられ、人生の節目である卒業式がどうなることかと、気をもまれた方も多かったと思います。そんな中、都留市教育委員会の御指導の下、在校生の出席を取り止め、来賓も市教委代表の方とPTA会長様の2名と出席者を絞り、内容も、教育委員会告示、来賓挨拶、祝電及び記念品の贈呈等を省略するなど縮小して実施しました。

健康・安全を優先しての対処とはいえ、卒業という人生の門出を祝う会としては、形式的かつ無味乾燥的な式になっては困ると言うことを一番心配しました。

ところが、練習時間もほとんど無かった6年生による「別れの言葉」も、

4人の心のこもった発表や、それぞれによる自分の家族に宛てた感謝の気持ち、将来への決意表明があり、少人数による短時間の卒業式でしたが、参加者の気持ちが体育館いっぱい広がる、感動的な卒業式となりました。卒業式が滞りなく終わり、御来賓を玄関に案内する道すがら、市教委を代表してお越し頂いた榎田教育次長様から、「卒業式って、やはりいいものですね。とても感動しました」というお言葉を頂きました。

今年の卒業生は、尾曲春紅さん、小俣のあさん、松下悠さん、三井大遥さんの男子4名でした。また、この4名を加えて、都留文科大学附属小学校の卒業生（谷村第三小学校以前の卒業生を含まず）は、1,215名となりました。



■ 本日、修了式 ■

本日、3月25日（水）をもちまして、年間計画のとおり、令和元年度を終了いたしました。これに伴い、午後から修了式と離任式を行いました。

「修了」の言葉の前に、いつものように「無事に」という言葉を付けがたい現実の中で終了することを、校長として申し訳なく、また残念に思っています。しかし、学校で一番大事な、「大切なお子様を無事故でお預かりできた」という点に於いては、「無事に終了することができ、本当に良かった」と思っています。

文部科学省及び県教育委員会は、長期の臨時休業により、予定していた学習内容が終わらないといったことがあることを心配し、学習できなかった内容については、「翌年に先送りしてもよい」と通知しています。

しかしながら、本校では、復習が十分に行えなかったといった現実はあるにせよ、本来本年度中に指導すべき学習内容をやり終えることができなかったという学年は有りませんでした。

むしろ、学校で十分に取り組みなかった復習を、春休みの課題としてお願いする部分もあろうかと思いますが、どうぞ御理解と御協力をお願いいたします。

校長室の窓辺より

「校長室の窓辺より」と称して、校長として考えていること、附属小の現在の様子を記してきた学校便りも、本号をもちまして、本年度は終了となりました。本年度も、本校教育活動に対して、御理解と御協力を賜りまして、誠に有り難うございました。また、御多用の中、学校便りをお読みいただきまして有難うございました。今後とも、開地地区の学校、都留文科大学附属小学校を、宜しく願ひいたします。

【裏も御覧ください】

4月の主な予定

- 6日（月） 春休み，最終日
- 7日（火） 入学式
- 8日（水） 新任式，始業式，集団下校
- 9日（木） 給食開始
- 10日（金） 1年生交通安全教室
- 14日（火） 避難訓練
- 17日（金） P T A新旧理事会
- 25日（土） 土曜参観，P T A総会・学年部会
- 27日（月） 土曜参観による繰り替え休業日
- 28日（火）～ 家庭訪問

* あくまでも，3月25日時点の予定であり，変更の可能性があります。